

令和3年6月16日

行政改革担当

国家公務員制度担当

内閣府特命担当大臣（規制改革・沖縄及び北方対策）

河野 太郎 殿

総務大臣

武田 良太 殿

厚生労働大臣

田村 憲久 殿

東京都知事

小池 百合子

新型コロナウイルスワクチン接種を担う医療人材確保に関する要望

新型コロナウイルスワクチンについては、希望する高齢者の方々に対して、7月末を念頭に2回の接種を終えることができるよう、取組を進めているところであるが、接種主体である市区町村では、接種を担う医療従事者の確保が課題となっている。

こうした中、国においては、時限的・特例的な取扱として、歯科医師によるワクチン接種について法的な整理をしたところであるが、高齢者への接種だけでなく、その後の多数の国民に対するワクチン接種を、迅速かつ円滑に進めていくためには、接種を担う医療従事者の人材のさらなる確保が急務である。

このため、新型コロナワクチンの接種において、獣医師、薬剤師など、幅広い職種の医療人材がワクチンの接種を担えるよう、現行制度の改善を要望する。

令和3年6月16日

行政改革担当
国家公務員制度担当
内閣府特命担当大臣（規制改革・沖縄及び北方対策）
河野 太郎 殿

総務大臣
武田 良太 殿

厚生労働大臣
田村 憲久 殿

東京都知事
小池 百合子

武田／モデルナ社ワクチンの確保、供給に関する要望

現在、都内各自治体においては、7月末の高齢者接種完了及びその後のワクチン接種の加速化に向けて積極的に検討を進めているところである。

一方で、これまで、高齢者をはじめとした住民向けのワクチン接種については、ファイザー社ワクチンを主として使用しており、その供給量は、4月から6月の計1億回から、7月から9月には7千万回に減少すると聞いている。

区市町村においては、地域の実情に応じて、接種促進に向け新たに集団接種の体制確保も進めつつあり、高齢者接種以降についても相当量のワクチン配分要望が寄せられているが、このままでは、ワクチンの供給不足により、体制に応じたワクチン接種の加速化が進まない事態も懸念される。

については、都内各自治体がワクチン接種を円滑かつ迅速に進めていけるよう、国において、ファイザー社ワクチンの供給減少を補うため、武田／モデルナ社ワクチンを確実に確保、供給するよう要望する。